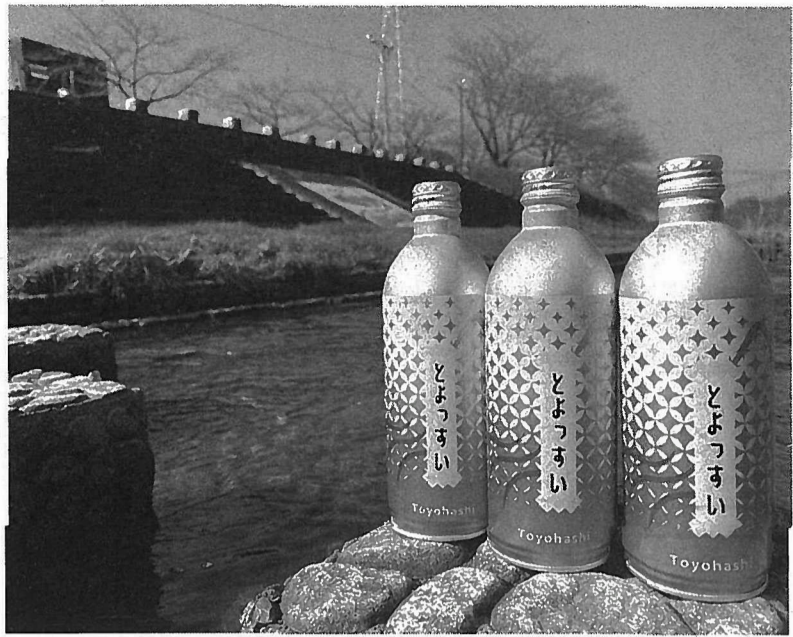


水をつくるの届ける

豊橋市上下水道局

皆さん、水道水を飲んで飲める国が、世界にどれくらいありますか？日本のよくらいあるか知っていますか。水道水をそのまま飲めますか。なんと世界に



豊橋市の「とよっすい」

十数カ国しかありません。

水質検査

中には不衛生なため、そのまま飲むと体に影響があるものもあるそうです。安全で安心な水道水を届けるのに大切なことは何だと思えますか？水道水を作る施設や、水

味や色、濁りなどを確認しています。また、水道法という法律で決められた水素イオン濃度(pH)や硬度など51項目に及ぶ水質検査を小鷹野浄水場で実施しています。さらに、局職員の検査が、正確で信頼できるものだというところを、東三河地域の自治体で初めて、第三た水道水をボトルに詰め者に認めてもらうことが

とよっすい

安全・安心な豊橋の水道水をPRするため、小鷹野浄水場できれいにした水道水をボトルに詰めた「とよっすい」を販売

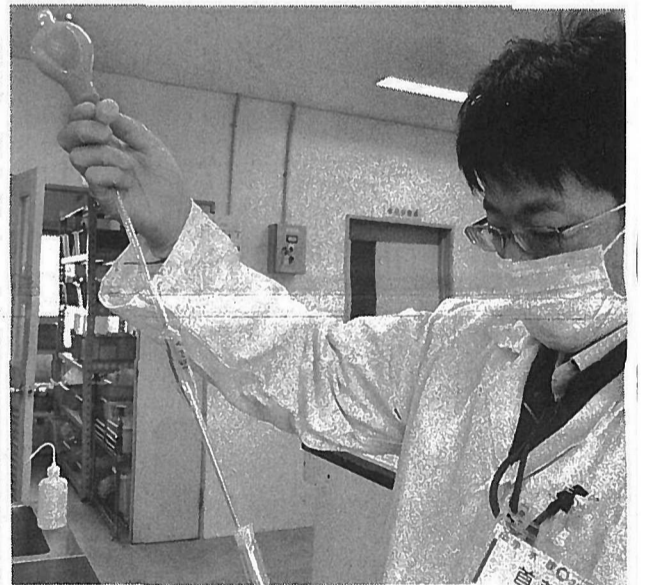
③ 安全・安心な水道水

水道を配る施設をしつかり管理する。それも重要ですが、それと同じくらい大切な仕事があります。それは、水の中に体に悪いものが入っていないかを確認し、安全・安心な水道水を配るための水質検査です。

豊橋市上下水道局では毎日、市内のいろいろなところで水道水を採り、水質検査結果は、上下

できました。ちなみに、どれくらい正確な検査をしているかといいますと、例えば学校のプールにひとつまみの塩を溶かしたくらい、とても少ないものでも見逃さないくらいのことまで確認しています。これからも安心して水道水を飲んでください。

の低減や災害備蓄品として活用ができるようにペットボトルからアルミ缶へ変更しました。ラベルデザインは愛知大学の学生と一緒に検討し、施設見学などで得たアイデアが散りばめられたデザインになっています。上下水道局などで販売していますので、デザインに込められた想いを感じ取ってもらえたらうれしいです。



水質検査の様子

